

福井ジュニアアーチェリークラブ



ジュニアクラブのトピックス

ジュニアクラブのOGが初めてのフル代表入り

ジュニアチームの1期生のOG（西嶋詩緒里選手：日本体育大学3年）が令和4年11月4日～6日に行われたナショナルチーム選考会において好成績を収め、2023ナショナルチーム入りを果たしました。

西嶋選手はこれまでもU17ナショナルチームやU20ナショナルチームに選出されていましたが、今回初のフル代表入りとなりました。

本県在住で、いつもジュニアクラブの近くで練習している久原千夏選手（福井信用金庫）も引き続き、ナショナルチーム入りを果たしました。



U20代表として国際大会出場の西嶋選手（高校2年生次）



ナショナルチーム選考会後の西嶋選手と久原選手

福井ジュニアアーチェリークラブとは①

①指導体制が充実

- ・鯖江高校を指導する津田勇志教諭がジュニアクラブと高校の部活動を一貫指導するようになり、指導体制が非常に充実しました。
- ・元世界選手権日本代表の現役選手も指導しています。

②全国大会で活躍する選手を続々と輩出

- ・令和4年度には、全日本小中学生選手権への出場、栃木国体に本県初の中学生選手として出場する選手を輩出し、この選手は現在も高校で競技を頑張っています。
- ・令和5年度の全日本小中学生選手権には、当クラブから4名の選手が出場を果たすなど、全国屈指の強豪クラブに成長しています。



全日本中学生選手権大会で競技する黒田蒼衣選手

福井ジュニアアーチェリークラブとは②

③日本トップレベル選手の練習を間近で見ることができる贅沢な環境

日本代表の久原千夏選手などが毎日練習する場所で一緒に練習できるため、トップ選手を身近に感じながら練習できる。



いちご一会栃木国体での福井県成年女子チーム

久原千夏選手

西嶋詩緒里選手（日本体育大学、当チームOG）

真柄結衣選手（近畿大学）

日本代表の久原千夏選手（福井信用金庫）

福井ジュニアアーチェリークラブとは③

④ 同年代の全国トップレベル選手との交流が持てる

中学2年生でレベルが上がれば、国体の強化指定選手に指定され、日本オリンピック委員会のJOCエリートアカデミーとの合同練習会にも参加できます。同世代のトップ選手と練習することで、より向上心を高めることができます。



JOCエリートアカデミーとの合同練習会にジュニアクラブから3名が参加（令和4年12月17日～18日）



福井ジュニアアーチェリークラブの実績

(令和4年度)

- ・全日本小中学生アーチェリー選手権 中学生女子の部
黒田蒼衣 9位タイ
- ・全日本ゴールデンエイジ (GA) アーチェリー大会 小学生男子の部
西嶋悠真 9位
- ・栃木国体 少年女子 福井県代表 黒田蒼衣
- ・第10回FBCかがやき基金 クラブが「かがやき賞」受賞

(令和5年度)

- ・全日本小中学生アーチェリー選手権 (8月19日～20日)
＜出場者：全国で各カテゴリ16名＞

| | |
|-----------|------|
| 小学生男子GAの部 | 西嶋悠真 |
| 中学生女子GAの部 | 谷口佳愛 |
| 中学生男子の部 | 村田聖那 |
| 中学生女子の部 | 帰山美波 |



福井ジュニアアーチェリークラブの目標

① 高校進学後にU-18ナショナルチーム入りする選手を輩出

OB・OGから毎年1名以上輩出（全国で男女各4名と狭き門）

※令和元年以降、OB・OG2名がナショナル入り

② 全国大会に出場する選手を数多く輩出

全日本小中学生アーチェリー選手権に継続的に数多くの選手が出場

③ 多くのトップ選手の輩出による知名度アップ

メディア等への露出が増え、県内の子どもたちの競技人口が増えてより活発なジュニアチームへの成長

④ OB・OGがチームの指導者となり次の世代を育成

トップ選手になったOB・OGが大学卒業後に福井に戻って、ジュニアチームの指導者になる長期的なサイクルづくり



「アーチェリー王国 ふくい」を目指しています